アルインコ株式会社
〒569-8510　大阪府高槻市三島江1-1-1
お客様相談室　0120-302-669
10:00～16:00　ただし12:00～13:00及び土･日･祝を除く

2019124-PL

アルミ製

台車

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を **よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。

この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります

禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

各部のなまえ

SKXタイプ（図はSKX02です）
SKX01
SKX02(W)
SKX03(W)
※Wは、2輪仕様です。

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告 **台車としての用途以外の使いかたをしないでください。**

禁止

この製品は、荷物を荷台に積んで運ぶ台車です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、荷物の落下や転倒による事故の恐れがあります。

⚠警告 **この製品は、本体表示ラベルで表示された最大使用質量の範囲内で使用してください。**

強制

荷物の合計重量が、最大使用質量を超えるときは使用しないでください。もし守らないと、運搬中にバランスをくずして、荷物の落下や転倒による事故の恐れがあります。

⚠警告 **製品の分解・加工や改造はしないでください。**

禁止

重大な事故を起こす恐れがあります。

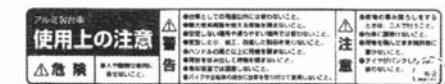
⚠警告 **濡れた鉄板の上、雪の日、凍結した所、ガタガタした所など、滑りやすい場所や安定しない場所では、使用しないでください。**

禁止

タイヤが滑ったり、バランスをくずして転倒する恐れがあります。

⚠注意 **貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。**

禁止

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（1ページを参照）をご連絡ください。

ラベルナンバー

⚠注意 **お子様や取扱説明書・使用上の注意ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。**

禁止

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

⚠注意 **この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。**

強制

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解の上、使うように指導してください。

2.お使いになる前に

⚠警告
強制
使う前には、必ず「ご使用前の点検」(7ページ参照)を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告
禁止
変形した台車を使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。
したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

⚠注意
強制
タイヤの空気圧を確認し、適正な空気圧にしてください。

空気圧が適正でないと、運搬中に転倒する恐れがあります。

3.荷物の積み降ろしをするときは

⚠危険
禁止
人や動物を乗せないでください。

転倒や転落による事故の原因になります。

⚠警告
禁止
ハンドルの高さ以上に、荷物を積まないでください。

重心が高くなり、転倒による事故の原因になります。

⚠警告
禁止
荷台をはみ出して、荷物を積まないでください。

荷物をぶつけたり、バランスをくずして、転倒による事故の原因になります。

⚠注意
強制
荷物の積み降ろしをするときは、台車を平坦な場所に置いてください。

傾斜地や不安定な場所に置いていますと、積み降ろし作業中に転倒する恐れがあります。

⚠注意
強制
荷台にコンテナを置くときは、必ず荷台寸法に合ったコンテナを置いてください。

コンテナが滑って、落下や転倒による事故の原因になります。

⚠注意
強制
荷台に板を敷くときは、必ず板を固定してください。

板が滑って、荷くずれなどによる事故の原因になります。

⚠注意
強制
荷物を積み込むときは、荷台にバランスよく均等に載せてください。

かたよった積み込みをしますと、荷物の落下や転倒による事故の原因になります。

⚠注意
強制
滑りやすい荷物を積み込むときは、ロープでしっかり固定してください。

荷物が滑って、荷物の落下や転倒による事故の原因になります。

⚠注意
強制
荷物の積み降ろしをするときは、二人で行ってください。

バランスをくずして、転倒する恐れがあります。

⚠注意
禁止
台車に腰掛けないでください。

転倒する恐れがあります。

4.運搬するときは

⚠警告
禁止
傾斜地は、横向きに走行しないでください。

バランスをくずして、転倒する恐れがあります。

⚠警告
禁止
急な坂道では、運搬しないでください。

荷物が滑って、荷物の落下や転倒による事故の原因になります。

⚠警告
強制
坂道を運搬するときは、ハンドルを身体の前面で持ち、前進で上り下りしてください。

ハンドルを後向きに持ったり、後進で上り下りすると、転倒しやすく危険です。

⚠警告
禁止
バイクや自転車の荷台に、台車を取り付けて使用しないでください。

道路交通法で禁止されています。また、台車が破損する恐れがあります。

⚠注意 **つなぎ材を持って、運搬しないでください。**

禁止

バランスをくずして転倒する恐れがあります。必ずハンドルを持って運搬してください。

⚠注意 **運搬するときは、地面の凹凸や段差に注意してください。**

強制

無理な移動をしますと、台車を破損したり、荷物の落下や転倒する恐れがあります。

⚠注意 **急な段差のある場所は、頑丈な板やアユミ板を使ってください。**

強制

無理な乗り越えをしますと、台車が破損したり、荷物の落下や転倒する恐れがあります。

⚠注意 **運搬中は走らないでください。**

禁止

バランスをくずして、荷物の落下や転倒する恐れがあります。

⚠注意 **運搬中は、ハンドルを上下・左右に振ったり、ジグザグ走行をしないでください。**

禁止

バランスをくずして、荷物の落下や転倒する恐れがあります。

⚠注意 **運搬するときは、ハンドルを持ち上げて、タイヤのみで行ってください。**

強制

ハンドルを持ち上げないと、底板が地面にあたって、転倒や破損の原因になります。

⚠注意 **荷物を積んだまま、傾斜地に置かないでください。**

禁止

バランスがくずれて、転倒する恐れがあります。

⚠注意 **タイヤがパンクしたときは、使わないでください。**

禁止

無理に使用しますと、タイヤを破損するだけでなく、バランスをくずして転倒する恐れがあります。

5.使用後のお手入れと保管のしかた

⚠注意 **車軸部には注油しないでください。**

禁止

車軸部にはベアリングがあります。ベアリングはグリスが塗ってあり、注油するとグリスが固まって故障の原因になります。

⚠注意 **タイヤを交換したときは、固定ナットを確実に締め付けてください。**

強制

締め付けが不十分ですと、バランスをくずして、転倒の原因になります。

ご使用前の点検

この製品をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

❶車体に曲がり･ネジレ･ヘコミ･磨耗･いちじるしい腐食がありませんか。
ある場合は、絶対に使わないでください。

❷各部の接合部や溶接部に、割れやいちじるしい腐食がありませんか。
ある場合は、絶対に使わないでください。

❸車軸にワラクズやゴミが巻き付いていませんか。
巻き付いているものを取り除いてください。

❹タイヤがすり減ったり、パンクしていませんか。
すり減ったり、パンクしている場合は、新しいタイヤに交換してください。

❺溶接外れや、ボルトなどの抜け落ちがありませんか。
ある場合は、絶対に使わないでください。

❻脚部の底板がすり減ったり、外れたりしていませんか。
している場合は、絶対に使わないでください。

2.触ったり動かしたりして、下記の点検をしてください。

❶車体にガタツキがありませんか。
ガタツキのある場合は、絶対に使わないでください。

❷タイヤがスムーズに回りますか。
スムーズに回らないときは、タイヤに泥･ゴミ･ワラクズなどの異物の噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。

❸タイヤにゆるみやガタツキがありませんか。ある場合は、タイヤの固定ナットのゆるみが考えられますので、締め付けてください。
それでも直らないときは、絶対に使わないでください。

❹荷台が地面と平行になる位置までハンドルを持ち上げ、タイヤの接地長さで空気圧を確認してください。
空気圧が適正でないときは、空気を入れたり抜いたりして調整してください。
（11ページの「1.タイヤ空気圧の点検･調整のしかた」を参照）

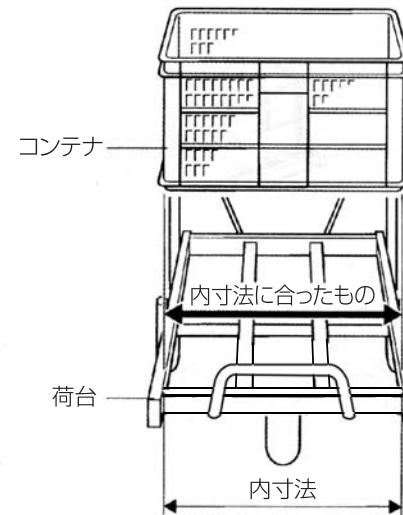
荷物の積み降ろしのしかた

1.積み降ろしに適した場所について

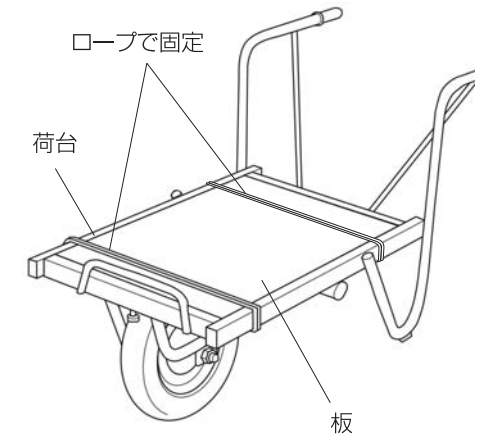
- 荷物の積み降ろしは、平坦で地盤の安定した場所で行ってください。
- 周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で作業できる場所を選んでください。

2.荷台の準備

- この台車は、荷台にコンテナ（市販品）をのせて使用されることをお勧めします。

  コンテナは、荷台の内寸法に合ったものをご使用ください。

⚠注意

コンテナが荷台の内寸法に合っていないと、運搬中にコンテナがずれて、落下の原因になります。

- 荷台に板をのせて使用するときは、板と荷台をロープで巻いて固定してください。

3.積み降ろし作業のしかた

荷物の積み降ろしは、必ず二人で行ってください。
一人はハンドルを持って、台車を押さえてください。

運搬のしかた

1.運搬する場所について

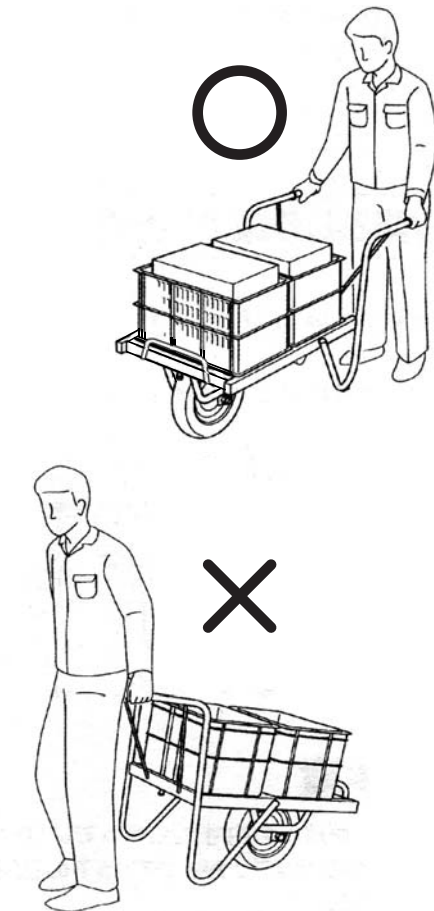
- 凹凸が少なく、平坦で安定した場所で運搬してください。
- 濡れた鉄板の上、雪の日、凍結した所など、滑りやすい場所では運搬しないでください。
- 砂地、砂利地、柔らかい地面など、タイヤが埋もれる場所では、路面に板などを敷いてください。

- 運搬する道は、周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で走行できる場所を選んでください。

2.運搬のしかた

- 運搬姿勢は、台車を身体の前面にし、両手でハンドルを持って、前進で走行してください。

⚠注意

**台車を身体の背面にしたり、後進で走行をしないでください。
転倒による事故の原因になります。**

- 段差のある場所を走行するときは、頑丈な板やアユミ板を掛けて、ゆっくり走行してください。

⚠注意

**無理な乗り越えをしないでください。
台車が破損したり、荷物の落下や転倒する恐れがあります。**

- 坂道では、坂に対して直角に走行してください。

⚠注意

**坂に対して平行に走行しないでください。
バランスをくずして、転倒する恐れがあります。**

各部の点検・調整のしかた

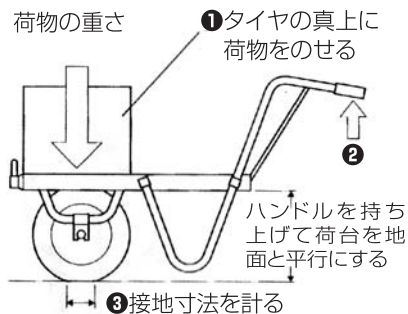
1.タイヤ空気圧の点検・調整のしかた

タイヤの空気圧表記が25PSIの場合、適正空気圧は1.7～1.75kgf/cm²です。30PSIの場合、適正空気圧は2.1kgf/cm²です。
以下の要領で空気圧を測定してください。

<測定のしかた>

❶荷台の中央に、荷物(下表のいずれかの荷重)を置いてください。

❷荷台を地面と平行になる位置まで、ハンドルを持ち上げてください。

❸タイヤの接地長さを測定し、下表と照らし合わせて適正空気圧かどうか確認してください。

● 適正空気圧の確認表

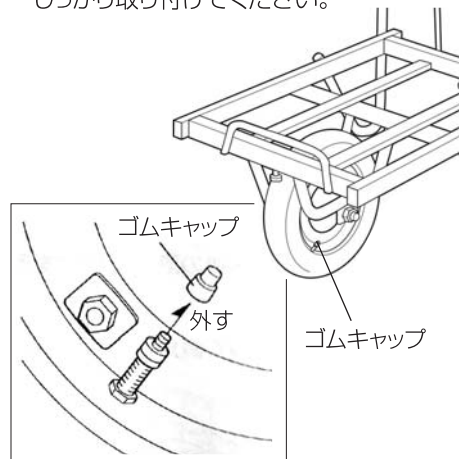
荷物の重さ	接地寸法
0kg	約 45mm
10kg	約 63mm
20kg	約 74mm
30kg	約 84mm
40kg	約 91mm
50kg	約 99mm
60kg	約104mm
70kg	約110mm
80kg	約114mm
90kg	約116mm
100kg	約120mm

上記の接地寸法は、一輪車の場合の目安です。二輪車の場合は、約半分になります。

❹タイヤの接地長さが短い場合は、タイヤの空気を抜いてください。長い場合は、空気を入れてください。

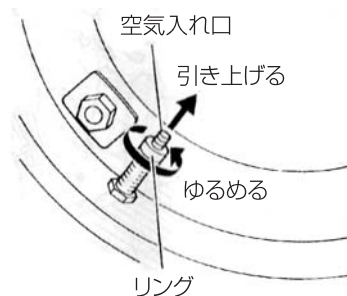
<空気の入れかた>

❶ゴムキャップを外し、自転車用空気入れで空気を入れてください。

❷空気を入れ終わったら、ゴムキャップをしっかり取り付けてください。

<空気の抜きかた>

❶ゴムキャップを外してください。

❷リングをゆるめ、空気入れ口を引き上げてください。タイヤの空気が抜けます。

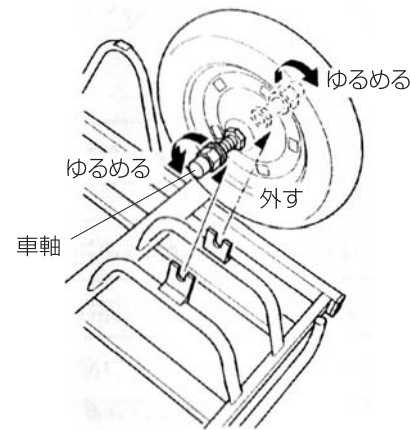
❸リングをしっかり締め込み、ゴムキャップを元通りに取り付けてください。

2.タイヤ交換のしかた

タイヤがすり減ったり、キズが入って使用不可能になったときは、お買い上げの販売店でタイヤセットをご購入いただき、交換することができます。

<タイヤ交換のしかた>

❶台車を裏返しに置いてください。

❷車軸の固定ナットと平座金をゆるめて、平座金とタイヤを車軸フレームから抜いてください。

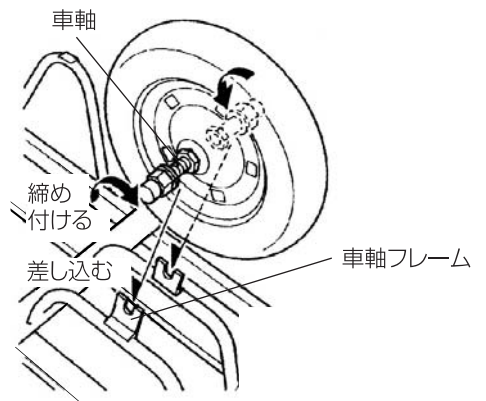
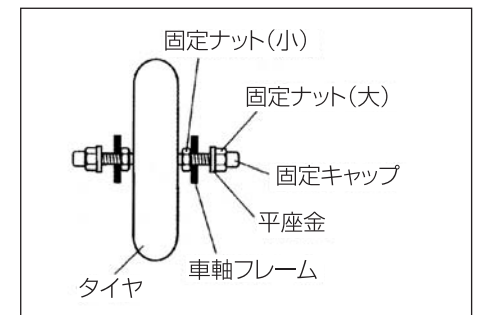
❸新品のタイヤを右記の要領で取り付けてください。

<タイヤの取り付けかた>

❶台車を裏返しに置いてください。

❷タイヤの車軸左右の固定キャップ、固定ナット(大)をゆるめてください。

❸車軸の固定ナット(小)を、車軸フレームの内側になるように差し込んでください。

❹車軸がタイヤの左右に均等に出るように調整してください。

❺固定ナット(大)と平座金で締め付けて固定してください。

使用工具	スパナ(対辺24mm)またはモンキーレンチ

使用後のお手入れと保管のしかた

1.お手入れのしかた

台車にとって泥･汚水･セメント･石灰･海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

<掃除のしかた>

❶汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。

❷汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

2.保管のしかた

❶雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。

❷台車が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- **保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。**
- **農薬やセメント･石灰の近くに本製品を置きますと、化学変化を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

故障かな?と思ったら(不調診断)

<現象>　●移動しにくい(車輪が重い)

点検する箇所	処置のしかた
車軸にワラクズやゴミなどが巻き付いていませんか。	ある場合は、取り除いてください。
タイヤがパンクしていませんか。	パンクしている場合は、新しいタイヤに交換してください。

<現象>　●ハンドルがとられる

点検する箇所	処置のしかた
タイヤの固定ナットがゆるんでいませんか。	固定ナットを締め込んでください。
タイヤの取り付けが不十分ではありませんか。	タイヤを確実に取り付けてください。
荷物の積みかたが偏っていませんか。	荷物を均等に積んでください。
タイヤの空気が抜けていませんか。	抜けている場合は、空気を入れてください。 パンクしている場合は、新しいタイヤに交換してください。

<現象>　●ガタガタする

点検する箇所	処置のしかた
ボルトのゆるみがありませんか。	ボルトを締め付けてください。
溶接外れがありませんか。	ある場合は、絶対に使わないでください。

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。
一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。